

令和 7 年 3 月田辺市長定例記者会見（市長コメント）

私ども田辺市民の誇りである南方熊楠翁の偉業を称え、田辺市と南方熊楠顕彰会が平成 2 年に制定しました南方熊楠賞も、本日ここに第 35 回の受賞者を発表する運びとなりました。回を重ねるにつれて、「知の巨人」南方熊楠翁の名を冠した賞にふさわしいものに育ってきたと各界から高い評価をいただいております。

ご存知のように南方熊楠賞は、熊楠翁の研究対象であった、民俗学及び博物学関係の分野において国内外を問わず顕著な業績のあった研究者を、人文部門、自然科学部門から毎年交互に選考し、賞状・トロフィー・副賞をお贈りしております。

今回の南方熊楠賞は、自然科学の部より賞を贈ることとし、選考委員会において慎重なご審議をいただいた結果、国立科学博物館名誉研究員で、魚類学が専門の「松浦 啓一（まつうら・けいいち）」先生にお贈りすることに決定いたしました。

選考委員会においても、「フグ目の分類学的研究やサンゴ礁に生息する魚類の生物地理学的研究に取り組み、多くの新種を発見するとともに、その分類体系の見直しを進め、さらに、世界各地の魚類標本の調査を進める過程で、魚類コレクションのコンピュータ管理や日本産魚類データベースの構築に取り組むなど、この分野の発展を支える基礎となる活動を展開している。また、自身の業績を数多くの論文や教科書、児童向けの図鑑などにまとめ、同分野の発展に向けた土台作りや後継研究者の育成に貢献している」と評価されていることから、第 35 回南方熊楠賞にふさわしい受賞者であると、主催者としても喜んでいる次第です。

授賞式につきましては、令和 7 年 5 月 10 日、午後 1 時 30 分から、紀南文化会館小

ホールにて執り行い、併せて、式後には「魚類の多様性研究：魚類分類学からデータベース構築まで」と題した受賞記念講演を開催いたします。

改めて、松浦先生に、心よりお慶びを申し上げます。

なお、受賞者の経歴並びに授賞式の詳細につきましては、このあと事務局から説明いたします。

最後に、本賞の運営に際しまして、選考委員の先生方をはじめ、関係各位のご尽力に深く感謝申し上げますとともに、今後とも、本賞が全国的、国際的な学術・文化の振興に一層寄与いたしますことを、心から願っております。